

No. 60

12月定例会

令和2年2月21日

目次

定例会の概要	2
議案等審議結果	3
市長所信表明・用語解説	4
代表質問	5~7
一般質問	8~10
委員会報告	11~13
常任委員会行政視察	14
議会改革特別委員会審議経過	15
議会活動日誌・編集後記	16

やまなし

市議会

だより

歳入歳出予算にそれぞれ1億6,451万円を追加し、総額198億2,781万7,000円にする一般会計補正予算など21案件を可決しました。

「QRコード」読み取りで会議録などの情報を見ることができます



山梨市議会



市道落合正徳寺線 ※令和2年3月26日に開通予定です。

12月 定例会 の概要

市長から提案された、条例改正、専決処分の承認、令和元年度一般会計補正予算などの審議を行いました。

議案第79号

山梨市特別会計条例等の一部を改正する条例について

簡易水道事業の公営企業化にあたり、簡易水道事業特別会計の廃止など関係条例を整備するため、条例の一部を改正しようとするものです。

議案第80号

山梨市下水道条例の一部を改正する条例について

「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律」の公布に伴い、排水設備指定工事店の指定における欠格条項を見直すため、条例の一部を改正しようとするものです。

議案第82号

専決処分の承認を求めることについて（令和元年度山梨市一般会計補正予算）（第4号）

台風19号により被害を受けた道路・水路の応急対策費、測量設計業務費及び災害応援協定を締結している長野県飯山市への災害応援対応経費に関する補正予算であり、歳入歳出予算にそれぞれ3千30万8千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ19億6千330万7千円にするものです。内容は、農林施設災害復旧費として380万円、公共土木施設災害復旧費として2千560万円、災害派遣経費として90万円余の補正予算を専決処分したため、承認を求めるものです。

議案第83号

専決処分の承認を求めることについて（令和元年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算）（第2号）

台風19号により被害を受けた水道施設の応急対策に係る補正予算であり、歳入歳出予算にそれぞれ1億4千480万円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ6億8千499万7千円にするものです。内容は、簡易水道施設災害復旧費として1億4千480万円の補正予算を専決処分したため、承認を求めるものです。

議案第84号

令和元年度山梨市一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出予算にそれぞれ1億4千650万1千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ19億980万8千円にするものです。新規事業として、西沢渓谷遊歩道整備事業1千430万円、フルーツセンターの施設整備費として2千万円、台風19号により被害を受けた道路及び法面などの復旧事業経費として7千670万円です。事業費の見直しとして、「障害児支援費」の追加3千484万円余、「介護等給付事業費」の追加1億2千77万円余、「児童扶養手当費」の追加2千384万円余などが主なものです。なお、社会資本整備総合交付金の対象事業につきましては、今年度の内示額が確定したことに伴い、各事業費とも減額の補正内容となっています。

令和元年12月定例会議案等審議結果

12月定例会議案等審議結果（議長を除く）

（賛：原案に賛成 反：原案に反対 棄：棄権）

議案 番号	議案 内容	議員名														審議 結果	
		矢 崎 和 也	土 屋 裕 紀	根 津 和 博	萩 原 弥 香	清 水 時 保	深 沢 敏 彦	飯 島 力 男	古 屋 弘 和	三 枝 正 文	木 内 健 司	小 野 鈴 枝	村 田 浩	飯 嶋 賢 一	岩 崎 友 江		向 山 輝
第79号	山梨市特別会計条例等の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第80号	山梨市下水道条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第81号	山梨市行財政改革諮問会議設置条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第82号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度山梨市一般会計補正予算（第4号））	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	承認
第83号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号））	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	承認
第84号	令和元年度山梨市一般会計補正予算（第5号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第85号	令和元年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第86号	令和元年度山梨市介護保険特別会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第87号	令和元年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第88号	令和元年度山梨市活性化事業特別会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第89号	山梨市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第90号	山梨市職員給与条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第91号	令和元年度山梨市一般会計補正予算（第6号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第92号	令和元年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第93号	令和元年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算（第3号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第94号	令和元年度山梨市介護保険特別会計補正予算（第3号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第95号	令和元年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第96号	令和元年度山梨市水道事業会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第97号	令和元年度山梨市下水道事業会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第98号	山梨市老人健康福祉センター指定管理者の指定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第99号	山梨市デイサービスセンター指定管理者の指定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決

高木市長の所信表明（12月定例会）

おもな事業の報告

●山梨市の県人会設立について

この県人会は、本市出身者や本市にゆかりのある方々で組織される会でありました。本市県人会は、平成24年度まで、「京浜山梨市県人会」として、年に1度、活動を続けておりましたが、役員の高齢化などを理由に休会しておりました。このような状況の中、本年5月に、本県の県人会組織を束ねる山梨県人会連合会が創立70周年を迎えた際、本市でも新たに県人会組織を立ち上げる機運が生まれました。去る11月9日には、都内で発起人が集まり、設立準備会が開催され、新たに「首都圏山梨市県人会」の名称とし、新組織が設立に向けて動き始めたところです。会の設立趣意書では、「首都圏を中心とする山梨市出身者や、山梨市にゆかりのある皆様と、山梨市民がともに手を携え、お互いの情報を積極的に交換し、親睦と交流を図ることにより、ふるさと山梨市のさらなる発展に寄与することを目的とする。」とされており、今後の組織の発展に、市も寄与していきます。

●山梨市駅舎の整備について

今年度末には、駅舎のリニューアル工事が完了し、南北自由通路の北口側を含め一部が供用開始となります。駅南口につきましては、整備状況と利用者の安全確保を考慮し、令和2年度中の供用開始を予定しています。なお、南口広場への車の乗り入れは、アクセス道路の完成する令和4年春になる見込みです。引き続き、地域住民の皆さま、駅利用者の皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

●山梨市地域医療戦略策定に関する答申について

団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年に向け、地域における適切な医療を、効果的かつ効率的に提供する体制を確保するため、「山梨市

地域医療戦略」策定に関する審議をスタートさせ、昨年10月30日に設置した「山梨市医療政策審議会」に諮問させていただきました。調査結果や、地域懇談会における市民からのご意見、指定管理者連絡会や庁内検討会の検討内容などを踏まえ、1年間にわたり慎重にご審議いただき、本日11月29日に答申をいただく予定です。本市では、この答申をもとに、今年度中に「山梨市地域医療戦略」を策定し、「地域包括ケアシステム」の構築や公立病院が担うべき役割、在宅療養を支える体制づくりを推進していきます。

●株式会社フリックス・ジャパンとの連携協定について

本市では、株式会社フリックス・ジャパンと「健康課題解決に向けた地域づくり」のあり方について、官民連携の勉強会を行ってまいりました。これは、人口減少社会が急速に進む中、行政と民間企業とが連携し、それぞれの役割を担うことで持続可能な地域づくりを行うための取り組みを研究することを目的としています。去る、11月26日には「フリックス・パートナーシップ・ミートアップ2019」という都内でのイベントにおきまして、本市のことをご紹介いただき、本市における在宅医療を中心とした医療の現状と、様々な資源に恵まれた本市の魅力について、積極的にPRを行ってまいりました。今後、令和2年1月23日には、市とフリックス社、市立牧丘病院の指定管理者である山梨厚生会との3者で連携協定を締結し、本市をフィールドとした市民の健康づくり、在宅診療、介護予防のあり方などを中心に検討を深め、「安心して生きがいを持てるまちづくりの推進」に積極的に取り組んでいきます。

議会用語解説

～議会だより第60号に使用されている用語を解説します～

用語	解説
定例会	定期的に招集される議会のことです。山梨市議会の定例会の回数は年4回(3月、6月、9月、12月)と定められています。
議案	議会の議決を必要とする市長または議員、委員会が議長に提出する案件のことです。条例の制定、改正、廃止、予算の決定、決算の認定などの案件があります。
一般会計	特別会計、企業会計以外の全ての基本となる歳入歳出を計上した会計のことをいいます。
常任委員会	議会が条例で設置する委員会の内、一定の部門の当該地方公共団体の事務に関する調査及び議案、請願等の審査を行わせる委員会のことです。山梨市議会では条例で、総務常任委員会、建設経済常任委員会、教育民生常任委員会を置いています。
専決処分	議会が議決または決定すべき案件について、議会を招集する時間的な余裕がないときなどに、市長が議会に代わって意思決定をすることです。専決処分をしたときは、次の議会に報告して承認を求めます。



問 台風19号の対応と課題検証から見る今後の防災への取り組みについて

以下、5点伺いたい。

- ①現状と防災対策の課題について。
- ②避難所への持参品と、警戒レベルによる開設状況について。
- ③被災自治体への支援後の備蓄品補充体制について。
- ④非正規職員の避難所運営などの対応について。
- ⑤国道140号におけるラジオや携帯電話の電波が入らない箇所状況把握及び対応について。

市長 高木晴雄

答 ①情報伝達や避難所の周知や運営など、項目ごとに課題を整理し、方針を協議した。今後、スピーディーな対応に努めていく。

②台風などの避難所開設は、状況に応じて増やしていく。また、自

ら備蓄した物の持参も可能であるが、地震災害時は、持参できずに避難することも想定されるため、水や食料等の生活物資を避難所へ届ける。

③今年度策定する被災自治体等への支援に関する基本方針に、支援の決定プロセス、支援体制と内容、各課の分掌業務などを盛り込む予定である。

④非正規職員も避難所の運営支援業務に従事した。

⑤一部のトンネル内で、ラジオ電波が受信できない状況を確認しており、今後、県及び通信事業者に対応を働きかけていく。

問 市医療施設について、以下、3点伺いたい。

- ①医療戦略における医療施設の構築と、病院が担う在宅医療の体制について。
- ②運営する山梨厚生会との協議内容について。
- ③老朽化した病院施設の検討、及び温泉活用について。

市長 高木晴雄

答 ①市内の医療及び関係機関と連携を強化し、この体制を盤石にし、「安心し、生きがいをもてるまちづくり」の実現に努めていく。訪問診療については、訪

問診療機能強化型病院として、今後も体制を維持し、さらに機能強化を図っていく。

②入院患者調査や経営状況調査等を行い、現状分析を共有し、次期指定管理期間も継続の意向を伺っている。

③個別施設計画を策定する中で検討する。温泉を活用した医療、介護、地域づくり等の連携については、計画策定時に併せて研究していく。

問 首都圏山梨市県人会の設立に向けた取り組みについて

以下、2点伺いたい。

- ①加入を求める方の居住地について。
- ②定期的な活動と臨時的な活動について。

政策秘書課長 中山浩貴

答 ①本市の発展を願う気持ちから、市内外問わず、居住地に関する明確な線引きはないものと捉えている。

②年1回の総会・懇親会の他、本市で行われる各種イベントへの参加による市民とのふれあいなどを想定している。

問 公立小中学校の働き方改革と本市の実態について

以下、2点伺いたい。

- ①勤務実態について。
- ②教員の人材確保、及び働き方改革を行う上での見直しについて。

教育長 澤田隆雄

答 ①昨年度の本市の一人1ヵ月当たりの平均時間外勤務時

間は、小学校で約42時間、中学校で約67時間である。

②教職員の多忙化解消を図るため、23人の特別教育支援員や学習支援員を本市単独で雇用し、配置している。また、校務支援システムや高速印刷機の導入により、改善を図る。

＜その他の質問＞

○被災した三富地域簡易水道施設の復旧状況と令和2年度から実施する公営企業会計への移行について

○新規就農予定者の居住先の確保と議案第84号令和元年度一般会計補正予算(第5号)フルーツセンタ―施設整備費について

○統括監・企画監のこの一年間における成果について

○要配慮者利用施設の避難計画策定支援について

○会計年度任用職員及び病欠・休職・産休・育休などについて



▲「首都圏山梨市県人会」入会のご案内



問 山梨市立牧丘病院の方向性について

厚生労働省は、今後、再編や統合などを議論すべきと判断した市立牧丘病院を含む、全国424の病院名を公表した。以下、4点伺いたい。

①市立牧丘病院の運営について。
②「新公立病院改革プラン」及び「山梨市地域医療戦略」との関係について。
③医師不足の影響について。
④医療と介護が一体的に提供できる仕組みが重要だと考えるが、本市の医療戦略における考えについて。

市長 高木晴雄

答

①高齢化が進む中、在宅訪問診療の役割はさらに重要なものになると考えている。医療政策審議会では訪問診療に対す

問

所有者及び管理者不明の家屋等の対策について

る様々な調査や分析、地域医療懇談会では市民の意見を伺った。その結果、緊急時の入院機能と、本市中心部から離れた牧丘・三富地域の病院であることから、必要な病床数を確保し、訪問診療の拠点となる病院として、引き続き運営していきたいと考えている。②新公立病院改革プランは、牧丘病院を地域医療の核として、在宅医療の推進を基本として策定されている。本市地域医療戦略においても、同様の考え方で策定を進めている。③現在いる医師が1人でも欠ければ、現状の往診件数に対応できなくなる。医師の確保は重要であるため、指定管理者と連携し、取り組んでいく。④今後、医療と介護の従事者が連携し、一体となって患者や家族等をサポートし、切れ目のない支援を行う仕組みづくりが求められている。また、地域での支え合いも、ますます重要となり、地域包括ケアシステムの構築において、牧丘病院の担う在宅医療は基盤となるため、地域医療戦略に位置付けていく。

答

①本市が把握している市内全体の空き家数は234件、うち所有者及び管理者不明の空き家数は5件、固定資産税未納の空き家数は17件である。②直近3年間の相談件数は、平成29年度は9件、平成30年度は7件、今年度は11月末現在で14件であり、増加傾向にある。③山梨市空き家等相談窓口を設置し、様々な相談に応じながらアドバイスをしている。広報紙に空き家相談に関する特集記事を企画し、空き家になった場合のリスクを掲載したチラシを作成、配布するなど、空き家を増やさないための啓発活動を積極的に行っていく。④今年度、地域資源開発課に空き家専門の担当を配置し、問題となる空き家については随時対応している。国では各制度の見直しを行う動きがあり、今後

以下、4点伺いたい。
①本市における所有者及び管理者不明の空き家等と、固定資産税未納の空き家の件数について。
②所在不明の空き家等に対する相談件数と傾向について。
③所在不明の空き家等に対する一歩踏み込んだ早めの対策について。
④廃墟同然となっている迷惑空き家等の対策について。
地域資源開発課長 日野原大城



▲山梨市立牧丘病院

空き家等の解消に向けて取り組んでいく。

〈その他の質問〉

- 山梨市フルーツパーク(株)の今後とフルーツセンター屋上防水工事及び冷暖房設備の修繕について
- 森林整備に向けた体制づくりについて
- 浄化槽法の改正を踏まえた合併処理浄化槽への転換促進について
- 山梨市社会福祉協議会の活動内容等について
- 地区公民館等の避難所機能と設備の整備について
- 立地適正化計画における居住誘導区域の安全対策について



問 高木市政3年目に向けた方向性について

以下、2点伺いたい。
①来年度以降の自主財源確保のための強化について。②3年目に向けた政策について。

市長 高木晴雄

答 ①法人市民税収入額を伸ばすため、引き続き企業進出の支援策を講じていく。本市へのふるさと納税寄附額は増加傾向であり、企業版ふるさと納税も含め、さらに本市の魅力発信と、再開予定の首都圏山梨市県人会とも連携した取り組みを行う。②本市の強みである豊かな自然を生かした産業の発展と、地域資源の発掘・発信を行い、多くの人が本市との関係性を築くことで、活性化と地域経済の発展を図る。

問 台風15号及び19号に学ぶ防災対策について

以下、2点伺いたい。
①ハザードマップの再点検と日川、重川沿いの避難場所の見直しについて。②河川敷内の整備や管理について。

市長 高木晴雄

答 ①重川と日川については、県が本年6月「水位周知河川」に指定し、新たに浸水想定区域が設定された。両河川の浸水区域のハザードマップの修正が必要であり、来年度、全戸配布する。また、指定避難所の見直しも行う。②笛吹川については、国土交通省により、岩手橋から桑戸橋までの樹木が繁茂している4箇所での伐採を行う。県の管理河川については、整備を要望し、繁茂した樹木の伐採を進め、河川の底面整備も行う予定である。

問 病院再編報道の影響と牧丘病院の今後について

以下、3点伺いたい。
①報道を受けての市民への影響について。②牧丘病院の経営状況及び指定管理者である山梨厚生会

の今後の経営継続に対する見解について。③牧丘病院の今後について。

市長 高木晴雄

答 ①報道後の地域医療懇談会で、牧丘病院がすぐに再編統合されるのではないこと、重要な医療機関であることを説明し、理解をいただいている。②医療の質を保ちながらも経費削減に取り組み、黒字経営を維持していただいている。次期指定管理について、継続の意向があると伺っている。③必要不可欠な病院であり、大変重要な病院であるため、現在の医療提供体制を維持し、充実させていく。

問 市民体育館から大野桑戸橋間の開発について

農業者の利益を守る上での基本的な指導方針について伺いたい。

市長 高木晴雄

答 宅地から離れた農地、飛び地となる農地については、原則、農振農用地からの除外申請がされた段階で、他の方法を選択するよう指導している。当該地は宅地化が進む中、ブランド化された桃の一大産地でもあるため、今後

も農業者の立場に立った農用地利用計画の維持に努めていく。

問 英語教育実践研究大会について

以下、4点伺いたい。
①規模及び参加者数の見込みについて。②支援体制について。③英語特区指定後の取り組みについて。④特色ある英語教育の今後の進め方について。

教育長 澤田隆雄

答 ①毎年全国で1回実施し、今年度は本市加納岩小学校を含む県内の6校で実施する。山梨高校の体育館を借り、250名規模の参加者を目指している。②準備や当日の運営として、教育委員会及び市内全ての小中学校で支援する体制を築いている。③実践的な英語力の向上と、本市の子育て・教育環境の特色の一つとして、取り組みを広げていく。④子供たちの語学力向上を目指し、グローバル社会に対応した、たくましい力を持つ児童・生徒が育つよう、力を注いでいく。

＜その他の質問＞

○消費税率引き上げの影響について

○市民総合体育館軽スポーツ広場の改修工事の詳細について



▲山梨市民総合体育館軽スポーツ広場改修工事場所



清水時保 議員

日本共産党

問 市立牧丘病院の再編・統合について

厚生労働省は、本年9月に牧丘病院を含む「再編や統合の論議が必要」とする424の公立・公的病院などのリストを公表した。

地域医療において重要な役割を果たしている牧丘病院の今後のあり方について、市の考えを伺いたい。

市長 高木晴雄

答 今回のリストアップに関わらず、昨年10月から本市の医療施策における公立病院のあり方について、議論を重ねている。地域医療懇談会においても、市民から牧丘病院の訪問診療体制の維持を望む意見を多数いただいた。今後、医療政策審議会からの答申を踏まえ、効率化と機能強化も考慮しながら現在の体制を維持し、さらに強化していく。

問 水防の抜本的対策について

本年9月から10月にかけて、3つの台風が連続して東日本地域を襲い、記録的な災害をもた

らし、全国各地で河川の氾濫による大きな水害が発生した。①河川内の整備は急務であると考え、対応策について伺いたい。②広瀬ダムの浚渫と洪水調整能力、豪雨の際の対応について伺いたい。

建設課長 鶴田圭司

答 ①笛吹川については、国土交通省による、防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策として、岩手橋から桑戸橋までの間、樹木が繁茂している4箇所

の伐採を12月中旬に着手する予定である。②県で管理している広瀬ダムは、完成以来、浚渫はされていないが、定期的に堆砂状況の測量調査を行っており、必要となる貯水容量は確保されている。洪水調整能力については、洪水時ダム流入量毎秒560立法メートルを調整する能力を有している。豪雨の際の対応については、「ダム操作規則」に則り、適切に洪水調整がされている。今後もダム管理者と緊密な連絡、連携をとって、迅速に、正確な情報を提供していく。



▲笛吹川河川敷の樹木



萩原弥香 議員

公明党

問 「木育」について

子育てに地元木材を積極的に活用しようと、日本グッド・トイ委員会が提唱している木育推進の取り組みである「ウッドスタート宣言」について、本市も取り組まれてはいるかがか。

農林課長 所 和雄

答 平成31年4月から新たな森林経営管理制度がスタートし、今年度より森林環境譲与税が自治体に交付されることになった。

本市では、この交付金を活用し、森林整備計画を策定するため、来年度、森林所有者に対する意向調査を実施する予定である。この意向調査の結果を踏まえ、地域材活用等の推進とともに、将来の森林資源の活用や環境整備につながる事業として検討していく。

問 乳がん検診について

以下、3点伺いたい。
①本市の乳がん検診受診率の現況について。②未受診の方への対

策について。③セルフチェックのための「自己検診チェックシート」はあるのか。また、自己検診の啓発強化を提案するかがか。

健康増進課長 矢崎貴恵

答 ①平成30年度は12・3%であり、県平均の20・7%を下回っている。②40歳、50歳の節目年齢にあたる未受診者に対し、個別通知による受診勧奨を行っている。また、子育て中の母親を対象とした予防講座や、若年層のがん対策として、市内高校での出前講座を今年度から始めた。今後、受診率の向上をめざして啓発活動を継続していく。③検診受診票を交付する際に、本市で作成した「乳がんセルフチェック」を配布し、啓発している。今後は、広報などを活用した自己検診に関する情報提供をさらに、体感型の自己検診法の指導なども取り入れ、市民への啓発活動を強化していく。

＜その他の質問＞

○女性の視点を活かした防災対策について

○働く婦人の家・勤労者福祉センター「夢わーく山梨」について



▲ピンクリボン（乳がん検診）

※浚渫：水底をさらって土砂などを取り除くこと。

※認定NPO法人 日本グッド・トイ委員会：市場にあふれるおもちゃの中から優良なおもちゃを選び普及させること、おもちゃ専門家の育成を通して社会貢献を行うことを目的としている非営利団体。

一般質問



木内健司 議員

公明党

問

災害時の情報発信について
①災害時の情報の入手方法について、定期的に周知が図られているのか伺いたい。

②スマートフォンを戸別受信機として利用できるシステムは、防災行政無線の難聴対策やバックアップとしても有効であると考え、導入を視野に、災害時の情報発信のさらなる強化について、見解を伺いたい。

市長 高木晴雄

答

①防災出前講座等でのPR、及び広報紙などを活用して定期的に周知していく。②防災行政無線の難聴対策や改善策に取り組みながら、幅広いニーズに合わせた情報発信ツールも検討していく必要がある。特に、スマートフォンを活用した情報伝達については、身近な端末を使用するため、簡単な操作で情報が入手できる。さらに、運用費用も比較的安価なものが多いため、災害時の稼働状況を確認し、費用対効果を見極めながら導入に関する検討を進めていく。

問

同性パートナーシップ制度導入について
近年では同性カップルを結婚相当の関係であることを公的に認める「同性パートナーシップ制度」を導入する自治体が増えている。

①本市としても制度の導入を検討する時期と考えるが、見解を伺いたい。②本市としてはどのような取り組んでいくのか伺いたい。

政策秘書課長 中山浩貴

答

①性的少数者の人権の尊重を理解することが、まずは必要と考える。このため、性別に捉われない、個性と能力が発揮できる社会を目指し、偏見や差別をなくす取り組みについて進めていく。②本市では、偏見等をなくすため、様々な計画において対策を講じることとしている。取り組みに関しては、令和2年度「行政経営の基本的な考え方」の重要課題の取り組みとして位置付け、全庁的に検討する考えである。

その他の質問

○多剤服用対策について



▲災害時の情報発信 (引用：広報やまなし 12月号)



小野鈴枝 議員

市民クラブ

問

山梨市駅舎の整備と駅南口広場、加納岩小学校西通り・前通り線、日本カーボン(株)跡地について

以下、5点伺いたい。

①今年度末には駅舎リニューアル工事が完了し、南北自由通路の北口を含め、一部使用開始となることだが、来年3月のいつ頃になるのか。②駅南口は令和2年度中の使用開始を予定しているが、南北自由通路が完成してから1年遅れとなるのか。③駅舎、南北自由通路、南口、南口広場の全てが令和4年の春季に完成するのか。④加納岩小学校西通り・前通り線の予定について。⑤日本カーボン株式会社跡地の状況について。

市長 高木晴雄

答

①早期に完成するためにも、工事の進捗を見ながら、慎重にJR東日本と調整を図っているため、正式な公表までもうしばらく時間をいただきたい。②今後予定されているJR施工の仮駅舎・跨線橋の撤去にあたり、南口

広場建設場所を工事ヤードとして使用することや、通路南口周辺工事、駅を利用する歩行者等の安全確保の仮設道路工事、県道駅南線の工事などにより、令和2年度中の供用開始を見込んでいる。南口広場の完成までは、周辺住民の車両通行以外、原則、車の乗り入れは困難となる。③各種工事等の工程を勘案すると令和4年春の完成となる見込みである。④今年度、道路の詳細設計が完了し、来年度にかけて全線の用地測量と一部の建物等補償物件の調査を予定している。令和3年度からは、補償物件の調査と用地交渉を並行して行い、用地確保にあわせ、順次、工事に着手する。⑤本年3月の操業停止後、4月からおよそ1年間をかけて建物を解体し、土壌などについても、適切な対応を行うと伺っている。

その他の質問

○旧市役所跡地の活用について
○「市立産婦人科医院」産前産後ケアについて
○プレミアム付商品券について



▲山梨市駅南口広場建設場所



深沢敏彦 議員

市民クラブ

問 「居住誘導区域の災害リスク」について

過日、「市内の居住誘導区域の一部エリアが浸水想定区域にあたる」と新聞報道された。以下、4点伺いたい。

①県内の誘導区域設定状況について。②今回指摘されている区域の位置と規模について。③本市の誘導区域は国の指針に該当するの。④台風19号による当該区域の浸水被害の危険性はあったのか。

市長 高木晴雄

答 ①居住誘導区域は、自治体が策定する立地適正化計画の中

で設定するものであり、現在、県内で計画を策定しているのは、本市と大月市のみである。②浸水想定区域は笛吹川東岸の地域で、面積は約26ヘクタールである。③堤防完成後から今日まで浸水による被害がないことや、本市の強靱化計画等に基づく万全な安全対策を講じていることから、居住誘導区域として設定した。④一時、差出の磯付近で氾濫注意水位

になり、地元消防団と警戒パトロールを行ったが、その後は水位が下がり、浸水被害の危険性はなかった。

問 「居宅介護・医療と認知症ケアのユマニチュード技法」について

認知症ケアに関し、フランスで生まれ、約40年の歴史を持つユマニチュード技法の導入が日本でも進んでいる。以下、3点伺いたい。

①技法による介護・看護に対する見解と評価について。②本市の技法採用状況について。③本市の認知症サポーターなどへの活用について。

介護保険課長 芳賀光久

答 ①認知症の症状改善や、介護する人の負担軽減などの効果が確認されており、活用すること

とは有用であると考えている。②グループホームなど4事業所で採用しており、他の事業所においても、研修や学習会等で研鑽を積んでいる。③今後、認知症サポーター養成講座における導入や、ステップアップとしての研究会など、認知症疾患医療センター

である日下部記念病院と連携を図りながら検討していく。



▲日下部記念病院



岩崎友江 議員

尚志会

問 有害鳥獣対策について

以下、4点伺いたい。

①特定鳥獣適正管理事業における、「シカ」に関する管理頭数と対策について。②今後求められる対応について。③新たな鳥獣「アライグマ」に関する被害対策について。④農作物に影響を及ぼしている有害鳥獣の種類と頭数等について。

市長 高木晴雄

答 ①本市では、今年度46頭追加され、386頭となった。

また、新たに関東山地ニホンジカ広域協議会が設立され、捕獲困難地におけるシカの捕獲試行実験が行われる。今年度は、乾徳山が指定された。②猟友会の高齢化が進んでいるため、今後は、若手農業者等に幅広く呼び掛け、猟友会の担い手確保に努める。③アライグマ用捕獲檻の貸し出しを市民に促し、駆除に努める。また、JAとも連携し、防除講習会を開催する予定である。④シカ・イノシシ・猿・熊・アライグマ・ハクビシン・

カラス・ムクドリ・スズメである。正確な頭数把握は困難であるが、猟友会等と連携し、対策に取り組み。

問 旧三富小学校の活用候補者の選定について

以下、3点伺いたい。

①応募社数について。②選定委員会のメンバー構成について。③選定委員会の決定内容、及び今後の方向性について。

商工労政課長 守屋秀文

答 ①現地説明会には5社の出席があったが、応募は1社のみであった。②三富地域区長2名、商工会職員1名、副市長、教育長、及び関係課長5名の計10名

である。③審査項目は、起業して間もない申請者にとって、厳しい採点基準であり、不調に終わった。この事業者はドローン産業で、今後の発展や事業展開が見込まれるため、企業誘致の観点から、この事業者との協議を進めていく。今後、起業して間もない業者やベンチャー企業の参入も視野に入れ、採点基準の見直しを検討する。

〈その他の質問〉

○災害時の避難所について

○市営住宅の空き室対策について



▲旧三富小学校

総務常任委員会

付託議案

- 議案第81号 山梨市行財政改革諮問会議設置条例の一部を改正する条例について
- 議案第82号 専決処分承認を定めることについて（令和元年度山梨市一般会計補正予算（第4号））
- 議案第84号 令和元年度山梨市一般会計補正予算（第5号）関係付託部分
- 議案第89号 山梨市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第90号 山梨市職員給与条例の一部を改正する条例について
- 議案第91号 令和元年度山梨市一般会計補正予算（第6号）関係付託部分
- 議案第92号 令和元年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

総務常任委員会

- ◎根津 和博 ○木内 健司
- 深沢 敏彦 三枝 正文
- 岩崎 友江

○「議案第84号 令和元年度山梨市一般会計補正予算（第5号）関係付託部分について」

問 牧丘コミュニティセンター維持管理費について、増額の要因と内容を伺いたい。

答 現在、牧丘町コミュニティセンターは、在宅医療の拠点として、今年度から賃貸借契約により、牧丘病院の医師やスタッフが常駐し、使用しているため、光熱水費の電気料金分が増加した。市の施設であるため、財産管理費50万円の増額を行った。また、センターの玄関フロアは、台風19号の影響で雨漏が発生し、天井板の張替や屋根のコーティングなど、修繕による増額である。

問 文書法制管理経費が550万円の増額となっているが、郵送料や消費税に關係するものか伺いたい。

答 全庁的な郵便物は、一括して総務課が送付している。消

費税については、わずかなものだと考えるが、全庁的な郵便物の増加などに伴うものだと考えられ、例えば、「ふるさと納税」や「マイナンバー」等の制度に起因していると思われる。

○「議案第90号 山梨市職員給与条例の一部を改正する条例について」

問 人事院勧告に伴う市職員給与の条例改正を受け、来年度からの会計年度任用職員も対象となるのか。また、現在の非正規職員（臨時職員）が、このまま会計年度任用職員として採用された場合、これまでの実務経験等は考慮されるのか。

○「議案第90号 山梨市職員給与条例の一部を改正する条例について」



▲総務常任委員会での審査の様子

か。併せて、概算でどれくらいの人件費の増額となるのか伺いたい。

答 会計年度任用職員についても、人事院勧告による改定に伴い、来年度から給料表は勧告通りの取り扱いとなる。会計年度任用職員の採用については、これまでの実務経験等も考慮した上で、給与等に反映する。また、人件費については、おおよそ7千万円前後の増額を予定している。

・要望事項として、本市における防災倉庫の災害対策用備蓄品の補充について、今回のように、災害時の対応で使用され、減ってしまった備蓄用品や食糧等の補充については、速やかに元の数量に戻しておく必要がある。予期せぬ災害に備え、常に食糧を含む備蓄品が適正な数量で保管されるよう、定例会による補正対応を待つのではなく、スピード感のある対応や

体制を整えていただきたい。なお、本市における避難所の収容人数は、現状において、内閣府が推奨する、人口に対する割合の65%に達しておらず、避難所が不足している状態である。不測の事態を想定し、必要物資の量的確保、避難施設においては、民間施設の協力を得るなど、計画的な取り組みとあわせ、災害時への対応強化に努めていただきたい。

現地視察として、三富基幹集落センター防災倉庫の確認、及び牧丘町コミュニティセンター玄関フロア修繕箇所の視察を行った。



▲牧丘町コミュニティセンター玄関フロア修繕箇所視察の様子

建設経済常任委員会

付託議案

- 議案第79号 山梨市特別会計条例等の一部を改正する条例について
- 議案第80号 山梨市下水道条例の一部を改正する条例について
- 議案第82号 専決処分承認を求めることについて（令和元年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号））
- 議案第83号 専決処分承認を求めることについて（令和元年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号））
- 議案第84号 令和元年度山梨市一般会計補正予算（第5号）関係付託部分
- 議案第85号 令和元年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算（第2号）
- 議案第87号 令和元年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）
- 議案第88号 令和元年度山梨市活性化事業特別会計補正予算（第2号）
- 議案第91号 令和元年度山梨市一般会計補正予算（第6号）関係付託部分
- 議案第93号 令和元年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算（第3号）
- 議案第95号 令和元年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）
- 議案第96号 令和元年度山梨市水道事業会計補正予算（第2号）
- 議案第97号 令和元年度山梨市下水道事業会計補正予算（第2号）

建設経済常任委員会

- ◎土屋 裕紀 ○村田 浩
- 矢崎 和也 飯島 力男
- 飯嶋 賢一

○「議案第79号 山梨市特別会計条例等の一部を改正する条例について」

問 山梨市簡易水道条例の一部改正において、第9条の2項に、公道内給水管と配水管との統合の取扱いについての条文が新たに追加されているが、公道内にある給水管は市の管理となるのか伺いたい。

答 配水管から給水管を新設する場合は、公道内であっても個人の費用負担により設置することとなっているが、布設後は市の施設とし、市が管理することとしている。また、布設した使用者の効用を妨げない範囲において、分岐給水することができる。

○「議案第83号 専決処分の承認を求めることについて（令和元年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号））」

問 台風19号により被災した三富地域簡易水道施設の復旧のため整備した、2箇所の浄水装置についての財源は、市債1億4千480万円とのことだが、国の災害復旧補助事業などの活用はできないのか伺いたい。

答 国の災害復旧補助事業が活用できるよう、国に対しては災害報告及び国庫補助申請をしているところであるが、厚生労働省の災害査定は来年の2月頃に予定されており、現時点では災害査定の可否が不透明であるため、簡易水道事業債を充当している。

○「議案第84号 令和元年度山梨市一般会計補正予算（第5号）関係付託部分について」

○「議案第84号 令和元年度山梨市一般会計補正予算（第5号）関係付託部分について」



▲建設経済常任委員会での審査の様子

問 台風19号により被災した道路復旧工事について、国の災害復旧補助事業による対応を進めているとのことであるが、国庫補助金はどのくらい見込めるのか。また、復旧工事はいつ頃を予定しているのか伺いたい。

答 道路復旧に係る費用においては、査定額の3分の2が国庫補助金として交付され、残りの3分の1は災害復旧事業債が充当される。復旧工事の時期については、災害査定が先般12月16日に実施され、本市が申請した3箇所においては、概ね採択された。今後は、正式に査定額の決定を受け、1月末に工事契約を締結し、梅雨入り前には復旧工事を完了する予定である。

問 「歳出 都市計画費 万力公園管理事業経費」に委託料339万円を増額補正しているが、現在、公園内に台風等により枝が折れかけている高木が何本かある。それらの付近は立ち入り禁止区域となっているため、公園利用者には不便をかけている。できる限り早い対応が望まれるがいかがか。

答 公園利用者の安全を第一と考え、高木管理は、造園業者に委託している。台風などにより枝折れがあった場合、立ち入り禁止の措置を行い、業者に撤去を依頼している。できるだけ早く処理できるように努めていきたい。

現地視察として、三富芹沢地内可搬式浄水装置仮設置箇所、及び三富川浦地内白樺園入口市道被災箇所の視察を行った。



▲三富芹沢地内可搬式浄水装置仮設置箇所視察の様子

教育民生常任委員会

付託議案

- 議案第84号 令和元年度山梨市一般会計補正予算（第5号） 関係付託部分
- 議案第86号 令和元年度山梨市介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 議案第91号 令和元年度山梨市一般会計補正予算（第6号） 関係付託部分
- 議案第94号 令和元年度山梨市介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 議案第98号 山梨市老人健康福祉センター指定管理者の指定について
- 議案第99号 山梨市デイサービスセンター指定管理者の指定について

教育民生常任委員会

- ◎萩原 弥香 ○古屋 弘和
- 武井 寿幸 清水 時保
- 小野 鈴枝 向山 輝

○「議案第84号 令和元年度山梨市一般会計補正予算（第5号）関係付託部分について」

問 第3子祝金経費を増額しているが、今年度の第3子祝金を支給したのは全部で何人か。また、増加した要因についてはどのようなものがあるのか伺いたい。

答 今年度当初の予想人数は36人であり、10月末までの実績は25人であった。今後の出産見込みの方を含めると、5人増え、合計41人となる見込みである。増加した要因については、明確なことはわからないが、新元号となったことなど、記念の年ということも考えられるのではないかと。

問 市民会館および市立図書館の利用者数について伺いたい。

答 リニューアル後の平成29年度、及び30年度を比較すると、市民会館の利用者数は約8千人増である。市立図書館の利用者につ

いては、多少減少したものの、図書の出出数については増加傾向にあり、リニューアル前に比べ、リニューアル後の図書の貸出数は2割程増加した。

○「議案第98号 山梨市老人健康福祉センター指定管理者の指定について」

問 老人健康福祉センターはどのような施設であり、指定管理料は年間どのくらいか伺いたい。

答 元保健所の跡地に建てられている。1階には事務所やデイサービスセンター、機能回復訓練室などがあり、2階には入浴施設や大広間などがある。3階は運動することも可能な大集会室、さらに訪問介護事業所が入っている。今回の指定管理では、デイサービスセンターを除く施設管理を社会福祉協議会に行っていたかどうか

る。なお、今年度の指定管理料は、約3千400万円である。

○「議案第99号 山梨市デイサービスセンター指定管理者の指定について」

問 山梨市デイサービスセンターについて、同じ建物の中に2つの指定管理団体が入るが、光熱費等の費用負担割合については明確になっているのか。また、施設の老朽化が進んでいるが、デイサービスセンターについては、継続していくことを選んだのか伺いたい。

答 協定書により、2団体の費用負担は明確に分かれています。また、利用者確保が難しいという状況の中で、施設の老朽化は進んでいるが、介護保険事業計画で見込んでいるサービス料を確保するため、継続という選択をした。

・要望事項として、議会や委員会への報告の遅れや、新聞等の報道が先行してしまう事についてである。以前、議長から市へ、報道機関より先に、議会への報告を行うようにとの申し入れを行っていた。しかし、先日新聞掲載には、議会が把握していない内容の記事が掲載され、委員会において、具体的かつ丁寧な説明がされていなかったことは、大変遺憾である。関係課においては、議会への報告徹底を図っていただきたい。



▲教育民生常任委員会の審査の様子

常任委員会行政視察

総務常任委員会

視察日 令和元年10月16日(水)～18日(金)

- ①「サツマイモ（地域資源）を活用した「まちづくり」～廃校等施設の活用～」について（茨城県行方市）
- ②「宇都宮市まちづくりセンター「まちびあ」の取り組み」について（栃木県宇都宮市）
- ③「公共交通施策（白岡市のりあい交通）」について（埼玉県白岡市）

【常任委員長所感】

①廃校施設を活用した「なめがたファーマーズ・ヴィレッジ」は、官民連携による地域活性化策として、地域資源を活かし、農業の担い手不足の解消に取り組む先進的かつ成功事例であった。廃校施設の利活用と併せて大変参考となった。

②市民活動センターの役目を担っており、指定管理者制度を導入し、NPOやボランティアの支援と、5年間の施設管理をNPO法人が行っている。施設の利用状況から、本市においても、地域交流センター「街の駅やまなし」に指定管理者制度の導入を検討する上では、情報発信基地、地域の会議場と併せ、市民活動団体に対する中間支援施設としての機能も研究していかなければならないと感じた。

③オンデマンド型の公共交通サービス「白岡市のりあい交通」は、国の補助を受け、月平均800人の利用がある。本市では、これまでバスの運行について、見直しや改善を行ってきた。オンデマンドバスについても検討されてきたが、再度、調査等を重ね、本市にあった公共交通施策が見出せるよう参考としていきたい。



建設経済常任委員会

視察日 令和元年11月6日(水)～8日(金)

- ①「サテライトオフィス（企業誘致）」について（岐阜県郡上市）
- ②「大野市中心市街地の活性化と街中観光」について（福井県大野市）
- ③「富山とれたてネットワーク事業」について（富山県富山市）

【常任委員長所感】

①若者の雇用の創出や移住促進のため、IT化したクリエイターなどにより構成されたNPO法人が中心となり、ICT（情報通信技術）を活用した最新の設備を有するサテライトオフィスが開設されていた。地方にしかない資源と、最新のICTを上手く組み合わせさせた事例であり、活動を率先して進めるキーパーソンの創出が重要だと感じられた。また、地域交流も積極的に取り入れられている点も大変勉強となった。

②歴史ある中心市街地の活性化事業に取り組み、訪れる方が増加し、中心市街地への民間投資も徐々に目立つようになった。商店街や民家でも景観を意識した建造物が整備されるなど、美しい街並みが観光客を喜ばせている。



③地場産物の販売促進等を、各地域の連携により一体的に展開することで、地域農業の活性化と地域間交流を促進し、時代の変化に適応した地域農業の振興が図られていた。高齢の農業生産者が中心市街地へ赴かずに販売可能であることなど、農業に対し、意欲的に取り組める環境づくりの一環としても機能している。また、出荷する農家は「集落営農」というシステムが構築されており、効率的且つ、担い手不足を補う手法として参考となる事例であった。

教育民生常任委員会

視察日 令和元年10月1日(火)～3日(木)

- ①「児童発達支援センター」について（愛知県蒲郡市）
- ②「高齢者が外出したくなるまちづくり」について（愛知県豊明市）
- ③「パレットピアおおの」について（岐阜県大野町）

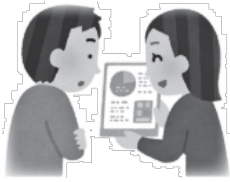
【常任委員長所感】

①子どもの発達についての相談などを行う地域の中核的な施設であり、子ども一人ひとりの特性にあった療育や訓練を通して、日常生活における基本的動作の習得や集団生活に適応できるよう支援を行っている。また、施設内には市内の企業が提供した遊具や設備が多く、センターの重要性を企業に認識してもらい、市と民間企業が協力し作り上げてきた印象を受けた。

②「チョイソコ」と名付けられた乗り合い送迎サービスは、配車システムを活用し効率的な運行を図っている。民間企業の協力を得ながら企業の潜在資源を有効的に活用した取り組み事例であり、本市でも同様な取り組みができ



③岐阜県の道の駅では最大級の規模である。町外からの来訪者をもてなし、町民が日常的なやすらぎの場として利用できることを目指している。併設している子育て支援施設は、木製遊具を設置したキッズルームや図書ルームなどを備え、また、指定緊急避難場所も兼ねており、災害時の広域防災機能やヘリポートが整備されている。また、大野町では、木育事業に取り組みしており、施設内で使用している木材遊具の材料は県内産を使用している。道の駅の新たな施設活用を知る良い機会となり、本市においても今後の参考にしていきたい。



議会改革特別委員会における会議用タブレットの審議経過

平成30年12月定例会において、全議員を委員とする「議会改革特別委員会」が設置されて以来、武井寿幸議長が掲げる議会のペーパーレス化の推進、及び業務の効率化を図るための「議会へのタブレット端末導入」について、様々な議論を重ねてまいりました。その審議経過と内容をご報告いたします。

今後も引き続き、会議用タブレットの審議経過、及び議会の取り組み内容を掲載してまいります。

審議経過	内 容
平成30年12月21日 特別委員会 設置	議会改革特別委員会を立ち上げ、会議用タブレット(以下、タブレット)の議論を開始した。
平成31年1月28日 第1回 特別委員会	タブレットの理解を深める為、すでに運用している山梨県富士川町議会を視察することに決定した。
平成31年2月12日 山梨県富士川町議会 視察	議員、議会事務局、執行部で富士川町議会のタブレットの運用状況を視察した。
平成31年2月18日～20日 県外市議会 視察	議会運営委員会として、議会改革先進県である三重県鳥羽市議会、亀山市議会、伊賀市議会のタブレットの運用を視察した。
平成31年3月8日 第2回 特別委員会	富士川町議会の視察について、それぞれの所感等を意見交換し、総論的に議会が執行部と連携できるタブレットを導入することが望ましいという集約となった。
平成31年4月26日 第3回 特別委員会	市民にタブレットに関する議会の取り組みを理解していただく為、議会だよりの記事に掲載していくことを決定した。
令和元年5月30日 第4回 特別委員会	タブレットの使用範囲を限定する為、運用基準や規程を検討していくこととした。
令和元年6月27日 第5回 特別委員会	タブレットの導入経費及び維持管理経費を把握する必要がある為、概算を算出していくことを決定した。
令和元年7月26日 タブレット操作研修	議員、議会事務局、執行部の合同によるタブレットの操作研修を実施した。
令和元年7月30日 第6回 特別委員会	議会として、タブレットを導入する方向で意思決定をした。
令和元年8月7日 第7回 特別委員会	作成したタブレットの運用規程の素案を説明し、今後協議を重ねていくこととした。
令和元年8月26日 第8回 特別委員会	タブレットを導入した場合の通信費を議員の個人負担とするべきとの意見があり、調査・検討していくこととした。
令和元年9月26日 第9回 特別委員会	数回に亘り協議してきたタブレットの運用規程について、最終案を決定した。
令和元年10月31日 第10回 特別委員会	タブレットの通信料について、すべて議員の個人負担にすることを決定した。
令和元年11月28日 第11回 特別委員会	タブレットにおける運用について、イメージ図により説明した後、様々な意見交換を行った。
令和2年1月31日 第12回 特別委員会	タブレットの運用上どのようなデータを使用し、活用していくのかについて議論した。

議会活動日誌

12月

- 令和元年12月定例会(11月29日～12月20日)
- 令和元年度山梨市文化協会特別事業文化公演(1日)
- 民生委員・児童委員委嘱式(5日)
- 山梨市都市計画審議会(5日)
- 山梨市ソフトボール協会令和元年度納会(10日)
- 議会運営委員会(12日、19日)
- 会派代表者会議(12日)
- 議員全員協議会(12日、19日)



- 新翔会・公明党合同行政視察研修(5日～7日)
- 第16回全国小学校英語教育実践研究大会山梨大会(7日)
- 第15回自然と清流・果実の里やまなし短歌大会(8日)
- 全国過疎地域自立促進連盟第140回理事会(12日)
- 全国広域連携市議会協議会第51回総会(13日)
- 議会運営委員会行政視察研修(18日～20日)
- 議会運営委員会(26日)
- 議員全員協議会(26日)
- 令和2年3月定例会(2月27日～3月24日)

1月

- New Year Festival 2020 Happy!! 初日の出(1日)
- 令和2年山梨市消防出初式(5日)
- 民生委員・児童委員退任者への感謝状及び記念品伝達式(7日)
- 第33回山梨市経済団体役員新年互礼会(10日)
- 令和2年山梨市成人式(12日)
- 山梨市建設協力会新年会(16日)
- 山梨市柔道連盟新年鏡開き式、定時総会及び懇親会(19日)
- 令和2年新春賀詞交歓会(21日)
- 岩手地区新年会(26日)
- 市民クラブ・日本共産党合同行政視察研修(27日～29日)
- 議会運営委員会(31日)
- 議員全員協議会(31日)
- 第12回議会改革特別委員会(31日)
- 議会だより編集委員会(31日)



● 会派の代表者変更について

令和元年11月29日、尚志会の代表者変更届の提出がありましたのでお知らせします。

変更前：代表者 向山 輝 議員

変更後：代表者 飯島力男 議員

● 議会運営委員会委員の変更について

令和元年12月12日、辞任願の提出により、議会運営委員会委員に1名の欠員が出たため、補欠選任を行いましたのでお知らせします。

新委員：飯島力男 議員

2月

- 根津記念館歳時記イベント「節分豆まき」(2日)
- 令和元年度山梨県市議会議長会議員合同研修会(4日)
- 第15回山梨市地域福祉大会(5日)
- 第15回山梨市老人福祉大会(5日)



3月定例会開催予定

- 2月27日(木) 本会議(開会)
- 3月4日(水) 常任委員会
- 9日(月) 本会議(補正等)
- 12日(木) 本会議(代表質問)
- 13日(金) 本会議(一般質問)
- 16日(月) 常任委員会
- 17日(火) 常任委員会
- 24日(火) 本会議(閉会)

※全日程午前10時から開会予定

編集後記

令和となり、初めての元日に仰いだ朝日と輝く富士。新しい年をどのようにお迎えされたのでしょうか。

12月定例会「市議会だより60号」をお届けいたします。東京オリンピック・パラリンピック開催に彩られる令和2年度が、より充実した市政となるよう市議会としても務めて参ります。市民の皆様のご意見をお寄せください。

萩原 弥香

議会だより編集委員会

委員長
副委員長
委員

土屋 裕紀
根津 和博
武井 寿幸
三枝 正文
矢崎 和也
萩原 弥香